岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名	災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託（東両谷川）
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.6	調査位置	No.0+4.48(L-1.56)	北　緯	34° 14′ 08.5919″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	平成31年 1月 7日～平成31年 1月 8日	東　経	132° 38′ 09.9917″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	DL 51.82m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	D1-C	
総削孔長	6.00m		エンジン	ヤンマーNFD-12型	ポンプ 東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
	51.62	0.20	SM	シルト質砂	暗～茶褐							(100)	GL-2.55mまで，主に砂と玉石から構成される土石流堆積物。花崗閃緑岩を起源とする礫・玉石が混在する。	1/8 1.25
	51.33	0.49	B											
	51.24	0.58	GS	玉石	暗灰									
1	50.67	1.15	B	砂礫	茶褐							(100)	GL-0.0～0.2m間，シルト分が多く，草根が混入する。	
				玉石	暗灰								花崗閃緑岩起源の未風化玉石	
2	49.27	2.55	G	礫混じり砂	茶褐							C[0](100)	φ2mm～2cm程度の礫と，砂からなる	
													花崗閃緑岩起源の未風化玉石	
3								E			D		主に砂と礫から構成される	
						w4	h2	D	VI		D	C[0](100)	風化した花崗閃緑岩である。白濁した長石が目立つ。深度を増すごとに硬質になる。	
4			Gd	花崗閃緑岩	黄褐灰					d	D	C[0](100)	GL-2.55～3.00m DL級	
5						w3	h1	C	V		D	C[0](100)	GL-3.00～4.00m DM級	
													GL-4.00m以深　DH級	
													GL-2.55～4.00m　酸化し，赤みがかっている。	
6	45.82	6.00												
7														
8														
9														
10														
11														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	1.25	13		
13		300		
	1.55			
	2.15	23		
23		300		
	2.45			
	3.15	50	280	
50以上		280		
	3.43			
	4.15	50	190	
50以上		190		
	4.34			
	5.15	50	160	
50以上		160		
	5.31			
	6.15	50	120	
50以上		120		
	6.27			

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度（cm/h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L/min）	排水量（L/min）
		1/7	86	66／ケーシング	W/D	350	140	0	W2/5	5
					W/M	50	90	0	W2/10	10
					W/M	50	110	0	W2/10	10
				66	W/M	75	110			
						100	130			
						200	130			